

10月13日、市役所西木庁舎で秋田大学と仙北市との連携協定締結式が行われ、国立大学法人秋田大学 山本文雄学長と田口市長が出席し、それぞれ協定書に署名しました。

山本学長は「高齢化が進むなか、多種多様な疾患を持つ患者に対応できるように、地域のニーズに即した医師育成を進めたい」と話しました。

連携協定締結を契機として、それぞれの持ち味を最大限に活かしながら地域医療の課題解決や発展を目指します。



協定を締結する田口市長と山本学長（写真右）。



夜明け前にスタートするランナー。



ランナーへ渡す袋を作る角館小学校的児童。

9月24日、仙北市角館町をスタートし北秋田市鷹巣をゴールとする北緯40度秋田内陸リゾートカップ「第31回100キロチャレンジマラソン」が開催されました。

当日は、角館交流センター前を4時30分にスタートする100キロの部に988人が出場したほか、北秋田市阿仁農村環境改善センター前を10時30分にスタートする50キロの部に414人が出場しました。

コース途中のエイドステーションでは、地域住民からおにぎりや果物、飲み物などが提供され、ランナーたちは栄養を補給。沿道からの声援を受けてゴールの北秋田市交流センターを目指しました。

このマラソンは、多くのボランティアの皆さんに支えられています。そのほか角館小学校的児童がイラストや「がんばれ」と書いて作った袋に入られたお菓子が、出場するランナーの皆さんに配られました。



一般の部最優秀賞の成田義道さん。

9月24日、市民会館を開場に第36回生保内節全国大会が開催され、一般の部に93人、年少者の部（中学生以下）に13人が出場し、日頃の練習で鍛えられた歌声と節回しが披露されました。

一般の部では、予選を通過した10人による決勝が行われ、鹿角市から出場した成田義道さんが最優秀賞に輝きました。山田千尋さんが最優秀賞に輝きました。入賞者は次のとおりです。（敬称略）

【一般の部】▼優秀賞／高橋さとみ（由利本荘市）、大川あけみ（秋田市）、山上衛（盛岡市）、加賀谷修治（大仙市）

▼敢闘賞／国柄ミヨ子（三種町）、永沢梅子（秋田市）、高橋邦子（大仙市）、藤井彩花（男鹿市）、小松博美（大仙市）

【年少者の部】▼優秀賞／石川空青（秋田市）、長谷川芽咲（鹿角市）、佐藤菜侑（北秋田市）



準優勝受賞後、出演者で記念撮影。

10月5日～8日、神奈川県川崎市で開催された、公益財団法人日本民謡協会が主催する令和5年度民謡民舞全国大会に、秋田県代表として秋田仙北会（会長熊谷信子）が出場しました。

7日の民舞紅旗戦で準優勝、8日の内閣総理大臣杯争奪戦で2年連続の準優勝を受賞しました。

踊りの代表を務める佐藤おかりさんは、「とても楽しいステージでした。優勝旗を秋田に持って帰れるよう、また挑戦します。応援よろしくお祈りします」と決意を話してくれました。

秋田大学と

連携協定締結

地域医療発展のために

第31回100キロ

チャレンジマラソン

北緯40度秋田内陸リゾートカップ

第36回生保内節

全国大会

自慢の歌声と節回しを競う

2年連続全国準優勝

「秋田おぼこ節」で

表紙の写真から



障がいの有無に関わらず交流 和太鼓体験教室

10月14日、大曲支援学校せんぼく校の体育館で和太鼓体験教室が行われました。

この教室は、せんぼく校祭の開催にあわせて同窓会「せんぼく桜スクール」と、中央公民館が共催したもので、当日はせんぼく校の卒業生や在校生、保護者の方など、約40人が参加しました。

はじめに、せんぼく校の卒業生が、同校で行っている「せんぼく太鼓」の演奏を披露したあと、在校生や保護者も交えて、豪快でリズムカルに和太鼓演奏を体験しました。

太鼓の音に誘われた外国人観光客も飛び入り参加し、和太鼓を通じて国際的な交流も広がりました。

中央公民館では、障がいの有無に関わらず誰でも参加し、体験できる取り組みを行っています。昨年からは、誰でも楽しめる障がい者スポーツ体験教室や防災体験教室などを行い、障がいがある人もない人もお互いに交流できる活動に取り組んでいますので、次の機会に参加をお待ちしています。

三市連携交流締結から16年

秋田市・常陸太田市・仙北市

平成19年8月、秋田市・常陸太田市・仙北市は、三市連携交流提携に調印しました。協定分野を観光・経済、文化、青少年、スポーツ、災害と定め、これまでさまざまな形で交流を重ねています。そのあらしを市民の皆さまにご紹介します。

【提携の経緯】

常陸の国を治めていた佐竹氏の国替が機縁。歴史的なつながりを背景に、常陸太田市と秋田市、旧金砂郷町（現常陸太田市）と旧角館町（現仙北市）がそれぞれ交流を行ってきました。その後、三市が市町村合併を経て新市となったことを契機に、幅広い分野で交流を行い、市民の友好関係と市勢のさらなる発展のため「三市連携交流」を行うこととなりました。

【交流の経過】

三市連携交流提携が結ばれてから今年で16年になりました。これまで5年の節目ごとに各市を会場に記念式典を開催し、三市の連携協力関係を再確認することにより、結びつきをより強固なものにしています。特に、仙北市の「角館の桜まつり」と常陸太田市の「常陸秋そばフェスティバル」では、互いに物産販売や観光PRを行っています。また、角館のお祭りには常陸太田市から市民交流団が訪れるなど、市民レベルでの交流も行われています。

各市の紹介

【秋田市】

秋田県のほぼ中央部に位置し、東には霊峰太平山を擁する出羽山地、西には夕日の美しい日本海が広がる、緑豊かな公園都市です。

- ▶人口 300,257人（R5.4.1現在）
- ▶面積 906.07km²
- ▶代表的な行事 秋田竿燈まつり

竿燈まつりは、東北三大まつりの一つで、毎年8月3日から6日までの4日間、秋田市で開催されます。8月のおまつり本番では、280本もの竿燈が大通りを埋め尽くし、竿燈の提灯にろうそくの灯が一斉にともると、まるで天の川が地上に舞い降りたかのような幻想的な美しさとなります。



↑秋田竿燈まつり

【常陸太田市】

茨城県の北に位置し、南北に40km、東西に15kmと県内で最大の面積があり、市の南から北でぶどう・なし、水稲、常陸秋そばなど様々な農業が展開されています。

- ▶人口 46,125人（R5.4.1現在）
- ▶面積 371.99km²
- ▶代表的な行事 太田まつり

8月中旬、鯨ヶ丘商店街で行われる常陸太田市の真夏の風物詩です。天神ばやしをはじめ神輿や子どもみこし、パレードなどさまざまなイベントで盛り上がります。



↑太田まつり

栄光・表彰



9月28日に市役所西木庁舎を訪れた小原さんは、須田教育長へ秋田県大会の結果と、東北大会への出場権獲得を報告しました。

9月12日、高田宮杯第75回全日本中学校英語弁論大会秋田県大会（読売新聞社・日本学生協会基金主催）が、秋田県生涯学習センター（秋田市）で開催されました。大曲仙北地区の代表として、暗唱の部に出場した小原理子さん（神代中学校・2年）が最優秀賞に輝き、11月2日、青森県で開催される東北大会への出場が決定しました。

小原理子さんが最優秀賞

高田宮杯第75回全日本中学校英語弁論大会 秋田県大会

WRO 2023 Japan 決勝大会 ミドル競技エレメンタリー部門に出場

8月26日に東京都立産業貿易センター浜松町会館で開催されたWRO 2023 Japan 決勝大会に出場し、29チームが出場したミドル競技エレメンタリー部門で11位となりました。9月28日には市役所西木庁舎を訪れ、須田教育長へ県大会で、全国大会となる決勝大会出場を報告しました。

西明寺小学校 khy kurikko



左から、渡部優人さん、佐藤駿人さん、須田教育長、菊田大雅さん。

8月8日、WRO 2023 Japan 秋田県大会が横手清陵学院高等学校で開催され、西明寺小学校の菊田大雅さん、渡部優人さん、佐藤駿人さんの3人で構成するkhy kurikkoチームが、ROBO MISSIONミドル競技で優勝しました。khy kurikkoチームの3人は、8月26日に東京都立産業貿易センター浜松町会館で開催されたWRO 2023 Japan 決勝大会に出場し、29チームが出場したミドル競技エレメンタリー部門で11位となりました。



9月24日、第55回全日本ECC英語スピーチコンテストが、大阪市のECC本社ビルで開催され、本市（市）の武家屋敷通り教室から出場した永井一花さん（横手高校・2年）が、弁論の部でグランドプライズを受賞しました。受賞した永井さんは、「コンテストでは楽しむことを第一に考えて、オーディエンスの方々に自分の思いが伝わるように頑張りました。この結果は自分だけの力ではなく、教えてくださった先生や送迎などをしてくれた両親のサポートがあったからだと思います」と話しました。永井さんには、賞品として優勝カップや賞状、メダルのほか、海外研修旅行が贈られました。

永井一花さんがグランドプライズ受賞

第55回全日本ECC英語スピーチコンテスト



10月16日、秋田県社会福祉会館で「秋田県老人クラブ表彰状授与式」が行われました。仙北市からは、老人福祉功績者として天寿老人クラブの伊東弘榮会長が受賞され、秋田県知事より表彰状が授与されました。同表彰は、長年にわたり老人クラブの組織づくり、育成指導において、特に功績のあった個人を称えるもので、伊東会長は地域をはじめ仙北市老人クラブ連合会全体の活性化や会員増強活動等に熱心に取り組み、仙北市の老人福祉向上に尽力されたとして今回の受賞となりました。

秋田県老人福祉功績者 知事表彰受章

老人福祉活動に尽力

メディカル・サイエンス in 仙北



カフェのような雰囲気で行われた講演の様子。

10月13日、西木総合開発センターで「メディカル・サイエンスカフェ in 仙北」が開催されました。当日は、飲み物を飲みながらカフェのような雰囲気の中、秋田大学の講師が、カフェのマスターとして市民の皆さんに健康や医学について分かりやすく解説する講演や意見交換が行われました。参加者からは「糖尿病について詳しく学べた。日常的な運動や食事など生活習慣を意識したい」と、感想を話しました。

くつろいだ雰囲気

第61回文化講演会

朝井リョウさんと

話そう



講演する朝井リョウさん。

10月6日、角館図書館後援会主催の第61回文化講演会が角館高等学校ホールで開催されました。当日、小説家の朝井リョウさんを講師に迎える講演では、角館高校の生徒の感想文が目玉に留まり、講演会の開催が決定したことなど、開催に至った経緯などを交えた講演となりました。また、参加者から事前に募集した「上手に文章を書く方法」や「小説家になるためにどうしたらいいのか」の質問に、朝井さんは「毎日日記を書くこと」「諦めず最後までやり遂げることを繰り返すことが大切」と、答えていました。

市民公開講座を開催

認知症になっても安心・安全に暮らせるまちづくりを目指して

10月1日、世界アルツハイマー月間を記念し、ドキュメンタリー映画「ほげますから、よろしくお願いします」の上映と、ホームホスピス秋田訪問看護ステーションの中村順子氏による講演会が、西木温泉ふれあいプラザクリオンで開催されました。講演会会場の隣りでは、オレンジカフェも同時に開催し、認知症について皆さまに広く知っていただくことができました。映画上映と講演会に参加され、これまでの認知症に対する意識が変わった方もいれば、考えを深めたことにより、不安を抱いた方もいました。認知症についての相談やお問い合わせ、オレンジカフェを開催してみたい、何か活動してみたい！という方はお気軽に包括支援センターへご連絡ください。包括支援センターでは、引き続き、誰もが安心して暮らしていくことができれば、市民公開講座を目指します。



講師の中村順子氏による講演会の様子。

秋田県知事賞を

受賞

9月3日、あきた総合畜産市場で「第99回秋田県畜産共進会」が開催されました。市内からは、1農家、1頭が出陳し、角館町白岩の相馬勲さんの「こまくさ103号」が、第1部肉用牛（黒毛和種）第5類（成雌牛）で優等賞を受賞し、さらに肉用牛の部で最高位賞である「秋田県知事賞」および「農林水産省畜産局長賞」を受賞しました。



優等賞を受賞した「こまくさ103号」。

お持ちのスマートフォンで実践的に習得

初心者向け スマートフォン講座



教わりながら、お手持ちのスマートフォンを操作する参加者。

仙北市では、人の流れと新たな時代をつくるサテライトオフィス誘致促進事業」を実施しており、その一環として、市内のIT人材の育成や、ITを活用できる方とできない方の間に生じる情報格差の解消を目指し、一連の講座を開講しています。10月11日には田沢湖総合開発センター、10月24日には市役所角館庁舎で、お持ちのスマートフォンを実際に操作しながら基本操作の習得を目指す、初心者向けスマートフォン講座を開催しました。

講座では、スマートフォンの基本操作の説明などに加えて、仙北市EPO公式アカウントなどの紹介も行いました。講師とサポートスタッフのフォローのもと、参加者の皆さんはスマートフォンをうまく使いこなせるよう、積極的に受講されていました。また、仙北警察署のご協力をいただき、スマートフォンを狙った特殊詐欺の事例とその対策のお話もいただきました。

なお、講座は11月も開催予定です。詳しくは、9ページの受講者募集の記事をご覧ください。

メルカリ Shops

粗大ごみ販売開始式

仙北市は、フリマアプリ「メルカリ」を活用した新たな取り組み第二弾として、10月6日から、市民の皆さまから寄せられた粗大ごみを仙北市「メルカリSDGs」で販売する取り組みをスタートしました。

同日、市役所田沢湖庁舎で販売開始にあつたのセレモニーが行われ、株式会社メルカリの高橋経営戦略室政策企画専事と赤上副市長が出席し計15点の販売が開始されました。

この取り組みは、東北の自治体では初となり、全国では8例目の取り組みとなります。今後もSDGs未来都市として、循環型社会の実現のため事業を推進していきます。



(株)メルカリの高橋専事(左)と赤上副市長。

応援ありがとうございました！

秋田25市町村対抗駅伝 ふるさとあきたラン！

由利本荘大会

今年で10回目となる市町村の代表選手による駅伝大会、「秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン」が、10月1日に由利本荘市「ナイスマリーナ」をメイン会場に開催されました。



仙北市選抜チームは、総合21位(出場28チーム)、市の部門で第15位(1時間29分20秒)の成績を収めることができました。たくさんの応援ありがとうございました。

チームメンバー

- 監督 松本成年
 - コーチ 草野宏之 三浦洋平 村上龍弘 毛利俊介 山口晃正
 - 候補選手 小学生男子▶高階颯貴 千葉迅翔 小学生女子▶齋藤和 山本怜奈 中学生男子▶鈴木優雅 戸澤伊吹 中学生女子▶津嶋このみ 渡辺蓮音 高校生以上男子▶佐藤晴規 仙波温大 高校生以上女子▶高橋心優 藤原莉暖 一般男子▶青山凛 大沼侃 壮年▶千葉雄司
- ※役職・区分ごとに50音順

善意ありがとうございます

あいおいニッセイ同和損害保険(株)から

交通安全推進事業に対して 寄附金をいただきました

このたび、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社MS&ADゆにぞんスマイルクラブより、仙北市の交通安全推進事業に対して寄附金をいただき、9月28日、同社の阪口達彦秋田支店長から田口市長に目録が手渡されました。

阪口秋田支店長は「交通安全の推進のために有効に使用してほしい」と話しました。

同社と仙北市は、地域課題の解決に取り組むことで目指すべき地方創生に実現することを目的として、地方創生に関する連携協定を令和2年11月13日に締結しています。これまでに、当連携協定に基づき、WEB視聴セミナーの開催や、安全運転推進イベントの開催、避難所設置・



運営診断サービスチェック、キッチンカーアプリを活用した市役所敷地内のキッチンカー営業の実施、運転シミュレーター機能付き運転適性診断機器の市への貸し出しなどを実施してきました。

本年10月には仙北市工コドライプ選手権も共同開催し、市民の工コドライプや安全運転に対する意識の醸成に貢献いただきました。

(株)アルファシステムから

企業版 ふるさと納税

10月12日、市役所角館庁舎で企業版ふるさと納税目録贈呈式が行われました。

当日の贈呈式では、仙北市が取り組んでいる「産業振興による仕事づくり事業」に対し、株式会社アルファシステム(秋田市)よりご寄附いただき、同社の佐藤嘉晃代表取締役から田口市長へ目録が手渡されました。

佐藤代表取締役は「仙北市が取り組む事業の発展に貢献できれば」と話しました。



秋のコンサート



10月21日、市役所角館庁舎で秋のコンサートが開催されました。柔らかな雨のなか、会場は柴田周子さんが演奏するギターと、萩田ヒサ子さんが演奏するマンドリンの優しくきらびやかな音色に包まれました。

世界旅行をイメージした多彩な曲目は、時に軽快に、時に愁いをたたえ、飽きることなく観客を魅了します。アンコールの「オーバーザレインボー」で締めくくられると、約50人の観客から大きな拍手が響きわたりました。

訂正とお詫び
広報せんぼく 10月号 21 ページで紹介した出演者の一部に誤りがありました。次のとおり訂正してお詫びいたします。
誤 萩野ヒサ子 (マンドリン) 正 萩田ヒサ子 (マンドリン)

シャインマスカット 摘み取り体験



神代小学校の児童クラブを利用する児童38人が、秋休み中の10月10日、農事組合法人中仙さくらファームで、シャインマスカットの摘み取りを体験しました。これは、農業体験を通じて楽しみながら食育を学び、子どもたちの体力低下を防ぐことを目的として、児童クラブと仙北市スポーツ協会の共催で行われました。

当日は、作付けしてから収穫できるまでの説明や水の管理、旬の時期、摘み取りの仕方などの説明を聞いて、児童が実際にシャインマスカットの摘み取りを体験し、「貴重な体験ができて楽しかった」と話しました。